

注目情報1 インターチェンジ名称変更日が決定

豊科ICが「安曇野IC」へ

10月7日に変わります

長野自動車道豊科インターチェンジ（IC）を「安曇野IC」へ名称変更する日が10月7日に決まりました。これまでの経過と今後のスケジュールなどについてお知らせします。

名称変更日は10月7日

市や関係機関などで構成し、豊科インター名称変更について協議する「安曇野市・豊科地域インターチェンジ名称検討協議会」（以下、協議会）が6月27日、堀金総合支所で開かれ、安曇野ICへの名称変更日を平成24年10月7日の日曜日に決定しました。

道路利用者の利便性向上と安曇野の知名度アップ

長野自動車道豊科ICは昭和63年に供用を開始し、安曇野の玄関口として利用されてきました。町村合併により平成17年10月に安曇野市となり、昨年の連続テレビ小説「おひさま」で安曇野の名が全国に知られ、注目されていること

の行楽シーズン中で多くの人が安曇野を訪れる休日にあたることから、この日が選ばれました。

から、平成23年5月に協議会を設立しました。

インターの名称変更による効果をはかるために行った民間調査会社による試算では、その経済効果が約10億4000万円と算出されました。また、市民や道路利用者への意向調査の結果、7割以上が肯定的でした。このことから高速道路利用者の利便性向上や、知名度向上、市の一体感の醸成も期待されるとして、平成24年1月に名称変更を正式決定しました。

案内標識の変更準備 新聞・テレビなどで周知

10月までに高速道路を管理する中日本高速道路(株)、東日本高速道路(株)など関係機関では管制システムの改修や、道路上の案内標識などの変更準備を行います。



名称変更により名実ともに安曇野の玄関口となる（豊科インター出口）

に新聞広告、ラジオCMでお知らせするほか、ポスター、チラシを高速道路や道の駅、観光施設等に配布するなど、さまざまな媒体を利用して行います。

このほか、名称変更にあわせ地域振興や観光振興を図り、安曇野の名を全国へ向けて発信していきます。

豊科総合支所内監理課
TEL 72・3111(代) FAX 72・3569

これまでの経過と今後のスケジュール

平成23年5月30日
第1回協議会

・費用負担・意向把握方法の協議

○市民・事業所への意向調査

・名称変更により7割以上が肯定

平成23年10月20日
第2回協議会

・名称素案を安曇野ICに決定

平成24年1月24日

○（独）日本高速道路保有・債務返済機構から名称変更の決定通知

平成24年1月30日
第3回協議会

・名称変更を正式決定

平成24年6月27日
第4回協議会

・名称変更日決定

○広報活動

○案内標識

変更準備



名称変更検討協議会（6月27日堀金総合支所）

平成24年10月7日
安曇野ICへ名称変更

安曇野ICへの期待 安曇野の魅力を多くの皆さんに

安曇野インターに名称が変わることは、訪れる人にとっても分かりやすく、「おひさま」効果も相まって、市内だけでなく周辺の地域にも観光などその効果が大きいと大変期待しています。



安曇野市観光協会 会長 宇留賀元亮

市観光協会でもさらに全国へ安曇野の魅力を伝え、どのようなおもてなしができるのか考えています。多くの皆さんと協力して、訪れた人がゆっくりしたいと感じてもらえる、例えば、「お茶でも一杯どうだい」と声掛けできるような温かいおもてなしができればいいですね。

名称変更も告知 安曇野ラッピングバスを運行

市では、高速道路利用者や県外の皆さんに安曇野を知ってもらおうと、高速バス白馬安曇野-新宿線に安曇野ラッピングバスを走らせています。バスの側面には、道祖神や、水と緑豊かな安曇野の景色、特産のリンゴが描かれ、背面には豊科ICから安曇野ICへの名称変更をお知らせしています。ラッピングバスは1日1往復、5月から10月末まで運行する予定です。

穂高総合支所内観光課
TEL 82・3131(代) FAX 82・6622



首都圏に向け、安曇野ラッピングバスが運行